

## 事業実績書

事業名	「ママが働く」を考えよう！	
場所	沼津御用邸記念公園・東附属邸第一学問所（沼津市下香貫島郷 2802-1）	
期間	平成29年9月1日～平成30年2月28日	
	日程	実施項目・作業項目
事業内容	<p>【実施内容】 就業や育児休暇明けの仕事復帰を予定している母親参加の、「ママが働く」ことに特化した講座（託児付）と、ケータリングランチ。 ・講座…正社員・時短勤務・パート・在宅ワークなど働き方ごとにわかれてのワークショップ。それぞれの実体験や悩みを話し合った。（1歳以上は託児）</p> <p>【実施場所】沼津御用邸記念公園</p> <p>【参加対象】 ・いつか働きたいと思っているママ ・もう働くことが決まっているママ ・働いているけど働き方に迷っているママ</p> <p>【人員配置】 ファシリテーター1名 パネリスト（正社員2名・パート1名） 託児スタッフ5名 雇用側ゲスト3名（マックスバリュ東海様・総合美容グループ エス.様）</p> <p>【スケジュール】（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など） ○2017年 12月23日 ママとね WEB サイトで参加者募集開始・12月下旬 雇用側との打合せ ○2018年 1月上旬 ファシリテーター・パネリストで進行打合せ。御用邸へ下見・申し込み</p> <p>【当日の状況】 参加者22名（内託児8名） ○当日の進行内容 ・正社員、パート、その他（起業など）の働き方ごとにグループにわかれて座り、現在の不安や悩みをポストイットに記入していき、グループごとにまとめた。 ・グループごとに発表してもらい、パネリストが自分の経験をもとに解決策を答えていった。（家事育児のバランス、夫との家事分担、スケジュールの共有など） ・雇用側の意見、各企業の女性社員への考え方、取り組みなどを伺った。 ・「あなたにとって働くとは？」を考え、グループごとに話し合った。 ・パネリストから「時短勤務」「待機児童」「小1の壁」などの現状について説明がされた。 ・働くといっても、色々な働き方があり、自分が何を大切にしていくかについて考えた。 ・ケータリングランチ…wcp（日本ウーマンズシェフ&amp;パティシエ協会）に依頼。</p>	



wcp は、働き続けるのがむずかしいとされる女性のシェフ&パティシエが集まり、より働きやすい環境を模索し、技術の共有・伝達をしている団体です。  
産後仕事復帰してワークシェアという働き方で活躍しているロールモデルにもなっている地域の先進事例でもあり、お話を伺いながら仕事を拝見するいい機会となった。

**事業効果**

同じような境遇の人同士で話し合うことで、不安要素を取り除き、就業や復職にポジティブな気持ちを持つことができた。さらに先進事例として紹介したケータリングランチによって、さらに母親同士のコミュニケーションを推進できた。

**今後の活動予定**

平成30年度もこの補助金を活用して実施を検討（申請済）

**自己評価**

母親の社会参加も話題に上る昨今。社会参加しようとしても、家事育児をこなしながら情報を集めるのは大変で、どの母親も多くの不安を感じている。  
申込受付が3日で定員となったことから見ても、「ママが働くこと」への関心の高さが。伺える。  
今回の参加者からは、  
「先輩ママからの『子育てを理由に自分のキャリアを後回しにしない、今できることは何か考える』という言葉に励まされました。」  
「働き方を含め、家族の将来について考えるきっかけになりました。」  
「自分の人生に後悔しないようにしたいです。」  
「同じ悩みを持ちながらも、様々な方法で乗り越えている話を聞き、心も軽くなりました。」  
などの感想を聞き、定期的開催して情報発信をし続けていくことが、参加していない・できないママたちの安心につながると実感した。